

# これで運動会も安心だ！

## 夏休み中に校庭の除染を実施

沼田市と沼田市教育委員会は、7月の空間放射線量測定で、毎時0.23マイクロシーベルト以上を「園庭・校庭」から検出した沼田北小、池田幼稚園、白沢小、平川小の園庭・校庭の除染を夏休み中に行なったことを明らかにしました。9月定例会で井之川博幸議員などの質問に答えました。

その他、1園・13校で縦樋・側溝・屋根下・フェンス沿いなど



除染後の北小学校校庭

で0.23マイクロシーベルト以上のマイクロスポットが、136カ所で検出されており、井之川議員は、今後早急に除染するよう求めました。

## 星野市長が北東アジア非核地帯構想に署名

沼田市議会H23年度決算審査委員会で井之川博幸議員は、沼田市が日本非核宣言自治体協議会に加入していることを受け、23年度の協議会の事業にどのように取り組んできたのか聞きました。

ひとつは、被爆地の行事や被爆者の話などを親子で取材し、「親子記者新聞」を発行する「親子記者募集事業」に取り組みましたが、本市では希望者がいなかった。また、平和行政の推進として3つの中学校で「原爆・戦争遺跡パネル展」を開催しましたが、原爆パネルは、「ミニミニ原爆展」を使用した。

さらに井之川議員は、協議会が「北東アジア非核地帯構想」の実現のため全国会員自治体の首長の「署名」を集め、392人の署名を外務大臣に提出する活動があったことを指摘し、星野市長は署名したかと聞いたところ、総務課長が、市長は「署名した」と述べました。

# 給食に放射能汚染食材使用か？

## 沼田給食センターで干しシイタケ使用が明らかに

沼田市の学校給食は、沼田給食センター、白沢調理場、利根調理場の3カ所で調理され、それぞれ地域の学校に配食されていますが、6月27日の沼田給食センターで調理された「カミカミマーボー」というおかずに、「群馬県産の干しシイタケ」が使用されていることを井之川博幸議員が一般質問の中で、明らかにしました。



井之川博幸市議

群馬県は、昨年12月5日、群馬県内11産地の干しシイタケの放射性物質検査で、1kg当たり35~2,867ベクレルのセシウムを検出し、「出荷停止」処分にしていました。基準の100ベクレルを下回ったのは1産地だけで、他の10産地は146ベクレルが1産地、9産地はすべて500ベクレル以上でした。

沼田給食センターで使用されたのは今年6月ですが、今年4月以降検出濃度は下がり、基準の100ベクレルは下回っているものの、群馬県産の干しシイタケは、4月5日46ベクレル、12日32ベクレルと38ベクレル、20日59ベクレル、6月1日38ベクレル、8日29ベクレルとかなり高いセシウムが検出されていました。

## 食材での事前の放射性物質検査を要求

沼田市教育委員会は、保護者たちが申し入れたにもかかわらず、食材での事前検査をやってきませんでした。検査は月2回で、調理済の給食1食分を1kgにまとめて測定していました。6月27日の給食は、ごはん、レバーの野菜あんかけ、中華サラダ、カミカミマーボー、サクランボでした。合計19品目の食材が使用されており、これをまとめた1kgで測定し、未検出でした。この中に「干しシイタケ」は何g入っているのでしょうか。たぶん5~10gぐらいではないのでしょうか。事前に「干しシイタケ」1kgを測定していれば、セシウムを検出でき、子どもたちのおなかにはいることはなかったと思います。

井之川議員は、食材段階での事前の放射性物質検査を強く要求しました。

2012年9月16日	No.625
<b>いのさんニュース</b>	
発行所沼田市下久屋町983	☎23-1519
井之川博幸議員活動地域版部内資料	